

和解契約書

原子力損害賠償紛争解決センター平成〇〇年（東）第〇号事件（以下「本件」という。）について、申立人X（以下「申立人」という。）と被申立人東京電力株式会社（以下「被申立人」という。）は、次のとおり和解する。

第1 和解の範囲

申立人と被申立人は、本件に関し、下記の損害項目について和解することとし、それ以外の点については、本和解の効力は及ばないことを相互に確認する。

記

- 損害項目
- ①申立人が平成23年に稲作を見合わせたことに伴う営業損害
 - ②平成24年5月に申立人所有の畑で行われた自主除染に関する費用

第2 和解金額

被申立人は、申立人に対し、前項の損害項目についての和解金として、金22万円の支払義務のあることを認める。

（内訳）

- ①申立人が平成23年に稲作を見合わせたことに伴う営業損害 15万円
- ②平成24年5月に申立人所有の畑で行われた自主除染に関する費用
7万円

第3 支払方法

（省略）

第4 除染費用

1 除染費用の重複請求を行わない旨の合意

申立人は、被申立人に対し、第1項記載の除染費用に関し、交付金、助成金、その他名目の如何を問わず、国や地方自治体等に対する請求を行わないことを約する。

2 国や地方自治体等に対する個人情報の提供

被申立人は、申立人が第1項記載の除染費用について被申立人から支払いを受けた事実を証するために必要のあるときは、国や地方自治体等に対し、当該事実及び申立人の氏名、住所、連絡先等の個人情報に必要な範囲内で提供することができる。

第5 清算条項

第1項に掲げる損害項目（その遅延損害金を含む。）については、本和解に定めるもののほか、当事者間に債権債務が存在しないことを相互に確認する。

第6 手続費用

本件に関する手続費用は、各自の負担とする。

本和解の成立を証するため、本和解契約書を2通作成し、申立人及び被申立人が署名（記名）押印の上、各自1通を保有するものとする。また、被申立人は、本和解契約書の写し1通を、原子力損害賠償紛争解決センターに交付する。

平成24年12月7日

（仲介委員 金田 繁）